ネッツトヨタ三重&リィーガ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

名張中学校 男子卓球部 編

あいさつを基本に上達したいと強い気持ちで取り組む 名張中学校 男子卓球部

1年生10人、2年生10人が、体育館1階の専用の卓球場で練習に励む名張中学校男子卓球部。卓球が好きで熱心に活動し、学校以外でも体育館を借りて練習するなど、部活の時間が短い中でも「自分たちで補っていこう」と積極性のある部員が揃っています。

Q1 部活の魅力は？

A1（今西さん）強い人に勝てるよう、みんながしっかりと練習に取り組んでいることです。

キャプテン 今西 祐太さん（いまにし ゆうた）

Q2 キャプテンとして心がけていることは？

A2（今西さん）卓球をする上で関わってくださる方々に、しっかり聞こえる声であいさつをすることです。

Q3 現在の目標は？

A3（今西さん）伊賀地区新人大会で団体戦では優勝して、個人戦ではベスト8に半分ぐらい進むことです。

Q4 チームの強みは？

A4（今西さん）練習する時と休憩の時のメリハリが、しっかりつけられるところです。

Q5 今のチームの課題は？

A5（今西さん）最近先輩・後輩が仲良くなっていますが、もっと馴染んでいけるようにしていきたいです。

Q6 どんなチームにしていきたいですか？

A6（今西さん）一人一人あいさつができて、その上で自分の目標が達成できるように努力することです。

Q7 どんなことを意識して練習されていますか？

A7（西山先生）練習メニューは決めていますが、試合を含め、あまり多くは言わないようにしています。こちらからあれもこれも言うと、その時点だけで捉えると効果はあるでしょうけれど、自分たちで考えてプレーする力をつけてもらいたいと思っています。もちろん必要なことはアドバイスしていますが、それもうまく飲み込んで、自らで消化していける力をつけてもらいたいと思っています。

顧問 西山 祐平先生

顧問 石橋 正道先生

※飯中直哉先生不在

二次元コードを読み取ると男子卓球部のコメントが見られます。

Q8 部活動を通して生徒に学んでほしいことは？

A8（西山先生）部活を通じ、学年を超えて関われることは大きな意義のあること。協調性であったり、コミュニケーションをとるスキルだったり、社会へ出る上で基礎となることを学べます。一つのことを続けるのは簡単ではありませんが、3年間継続し、卒業のとき「自分たちはこんなに頑張った、うまくなった」という達成感を持って、次のステップへと進んでくれるのが部活動の利点。結果を追いがちですが、その過程で取り組んでいる内容や積み重ねを意識してもらいたいです。